

情報公開文書

S26-42

研究課題名	Barrett 食道に関する全国疫学調査・研究
研究期間	2015 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	<p>繰り返される胃液の食道への逆流の結果, 食道下部の扁平上皮が不安定な円柱上皮に置き換わってしまうことがあり、この状態をバレット食道と呼びます。このバレット食道は発癌の危険性が高いと報告されています。しかしバレット食道の発癌率や危険因子については十分な検討が行われていません。今回、日本消化器内視鏡学会において、バレット食道を長期に経過観察し、その病態や発癌率を解明することを目的に計画された研究です。</p> <p>これまで実態の把握されていないバレット食道の病態解明, 治療方針の策定につながる可能性があり, 医学研究に貢献するところが大きいと思われまます。</p>
研究方法	<p>当院で胃カメラ検査を受けられる患者さんのうち, 3cm 以上の長さのあるバレット食道を認めた方を対象に、定期検査である年 1 回の胃カメラ検査でバレット食道の経過を観察します。またその際に簡単な問診と身体測定 (体重・身長・腹囲など) をさせて頂き, その結果を記録します。登録後, 最長で 10 年間の経過観察を予定しています。</p> <p>また、患者さんの個人を尊重し、個人情報厳重に保護し、取り扱いには十分留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施しております。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	<p>この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。</p>
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 消化器内科 副部長 田中 聖人 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)</p>